慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2011
Jtitle	新版 窮理図解 No.7 (2011. 8) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000007-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



 Ultrafast Spectroscopy of Semiconductors and Semiconductor Nanostructures 半導体ナノ構造における超高 速非線形分光の研究事例が数多く掲載されているレビュー的な本。半

導体研究の奥深さ、多様さをうかがい知ることができます。予想通りの実験結果が得られやすい「原子」と、厳密な理論構築が難しく予想と異なる実験結果が得られやすい「半導体」。人工原子と呼ばれる半導体量子ドットは、「原子」と「半導体」の両方の面白さを享受できる。非常に興味深い半導体ナノ構造であると言えます。

Nonlinear Optics 「非線形 光学」の教科書。学部 4 先生の時 に輪講で勉強して以来、ずっとお 世話になっています。私が修士 1 年生の時に初めて参加した国際会 ● 探偵ガリレオ 東野圭吾さんの本が好きで、時間があるとよく読んでいます。「秘密」「白夜行」など面白い作品が数多くありますが、中でも「探偵ガリレオ」シリーズは、科学を題材にした異色の理系サスペンス。自然科学の法則と、様々な事件のトリックを結び付ける柔軟な発想力には頭が下がります。ふと東野圭吾さんの経歴を見ると、電子工学科卒業でエンジニアとして働いていたとのこと。どうりで物理に詳しい訳です。

議で、著者の R. W. Boyd 博士に偶然お会いして感激した覚えがあります。若輩者の私に対しても、とてもフランクに接していただきました。身分や経歴などに関係なく対等に議論できる、そんなところが研究者の良いところだと実感した出来事です。

● 鏡の中の物理学 著者はノーベル物理学賞に輝いた朝永振 一郎博士。摩訶不思議で理解の難しい量子力学の世界が、明快か つわかりやすく書かれています。中でも短編「光子の裁判」は必見。

という二重性を、「波野光子」を被告とする裁判仕立てでユーモアたっぷりに解説しています。量子力学は難しくてとっつきにくい、と思っている人に読んで欲しい本です。

光は波でもあり粒子である

基礎からの量子光学 光そのものや、光と物質の 相互作用を量子力学的に取 り扱う研究分野を「量子光 ● 量子ドットエレクトロニクス の最前線 日本における量子ドット研究の最近の成果が網羅された本。量子ドットは日本人研究者によって初めて提唱された日本発祥のナノテクノロジー。今では多くの日本人研究者が、世界の最前線で活躍されている研究分野でもあり、日本の科学技術の裾野の広さを垣間見ることができます。私も1章分執筆させていただいている、思い入れのある本です。

学」と言います。本書は量子光学の基礎理論から、量子情報技術の実用化に向けた最近の取り組みまで網羅した教科書で、量子光学をこれから学ぼうとする人におすすめの本です。私が初めて執筆に携わった(といっても1章分ですが)本として、思い入れがあります。私以外にも、慶應義塾大学の先生2名が著者に名を連ねています。